

会 議 録

会議の名称	第3回鴻巣市シティプロモーション推進懇話会
開催日	令和3年11月13日(土)
開催時間	午前10時00分 開会 ・ 午前11時30分 閉会
開催場所	鴻巣市役所 大会議室
出席者(委員)氏名 (出席者数)	齊藤 哲也(アドバイザー) 亀谷 礼子 生川 由美 平山 八重 堀越 孝雄 斎藤 徹 真鍋 透 伊藤 恵 澤田 稔行 平 匠子 須藤 奈々恵 天野 雄大 山崎 益美 石山 菜緒美(14名)
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)	佐宗 勇志 (1名)
事務局職員職氏名	市長政策室参事兼秘書課長 小林 勝 市長政策室参事兼総合政策課長 武田 昌行 総合政策課主査 羽鳥 敦 総合政策課主任 岡 遼太郎
傍聴者の可否(傍聴者数)	可(0名)
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 意見交換(全体) 懇話会終了後に提出された意見について(報告) 3 意見交換(グループ) ・今後の事業展開について 4 各グループからの発表 5 その他 6 閉 会

- 「生活ガイド.com」における「戻りたい街ランキング 2021」「地域注目度ランキング」で鴻巣市が全国で上位にあることについて紹介した。
- 事務局からこれまでの振り返りと今日のテーマについて説明した。
- アドバイザーから推進方針については今後事務局で調整を行っていくものとし、方向性については現在のままでよいか確認を行った。
- グループに分かれて、来年度の取組と今年度のゴールについて意見交換を行った。各グループで出された主な意見は次のとおり。

【1 グループ】

- ・鴻巣にはびっくりひな祭りや花火大会など、市民活動での自走する土台があることが強みである。
- ・今年度のゴールとしては、市民が参加できる枠組みに向けて、共通のゴール（例えば、免許センターの通りを活性化させるなど）の指標を検討する。
- ・スラックや Zoom などのオンラインツールを利用し、推進懇話会もデジタル化を図るなど、この熱を冷まさずに取り組む。
- ・来年度の取組としては、小さなところから、局所的に事業を行っていく。
- ・ターゲットとして鴻巣駅東側から始め、吹上・川里地域にも広げていくことで、市内各地域の特色を生かしたプロモーションを進めていく。
- ・私はプレーヤーとなって人と人を繋ぐことができる。（宣言）
- ・高齢者の中には、地域を引っ張っている元気な方も多く、このエネルギーを次の世代につなぐ必要がある。土日のイベントなどにより 30 歳～50 歳代を取り込んでいきたい。

【2 グループ】

- ・来年度の取組として「語りの巣づくり 2022」を提案する。
- ・一部の市民だけが参加するのではなく、より多くの市民（市に不満を持っている人も）を巻き込めるよう、様々なテーマ（子育て、農業、20 代など）を設定し、小さなコミュニティを育成する。
- ・語りの巣を作る場所として、鴻巣駅東口から免許センターまでの空き店舗を市民が集まる場所として提供していく。
- ・今年度のゴールは場所の検討（空き店舗等の交渉）や「語り」のテーマを決めるなど、来年度の取組の準備を行っていくこと。
- ・民間の協力を得ながら、市民参加の枠組みを作る。今住んでいる市民一人一人を大切にできるような「人づくり」が重要。「戻りたい街」として選ばれていることからその素地がある。
- ・イベントの開催時については鴻巣駅もポスターの掲示等協力をしていく。
- ・免許センター通り、中山道の空き店舗を活用し、市民が集まれる場所（巣）を作る。

	<p>【3 グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信サイトが多くあるため、どれを見ればよいかわからない、子育て向けの様々なサービスがあるが、市民に届きにくいという課題がある。 ・人口減少の抑制を図るため、情報発信のターゲットを子育て世代とし、子育て世代が住みやすいまちづくりに取り組む。 ・今年度のゴールとしては、子育て世代をターゲットに据えたキャッチコピーの作成「例：〇〇の巣、〇〇の巣、こうの巣」 ・情報が集まるプラットフォームを作り、ひなちゃんカードなど様々な情報を集約していく。 ・鴻巣市に住んでいることが誇れるようなブランド力を高めていきたい。 ・子育て支援センターや児童センターなど子育て世代が集まる場所に情報があるようにする。そこに集う人からも発信してもらえようメリットを感じられる付加価値を提供する。(ポイントや割引などのお得感、充実感、子育てしやすさなど。) ・来年度はプラットフォームを利用して、地域ポイントの運用を行う。 ・鴻巣市に住んでいるメリットを発信し、プレーヤーを増やしていく。 ・すでにあるものをいかに活用していくか。小さなものを集めて「響奏」させることで、関わる市民の満足度も上がる。 ・どういうまちづくり・エリアを目指していくのかを決める。また、今鴻巣に住んでいる人たちの満足度を高める。 <p>【齊藤アドバイザー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通した意見として、リアルとオンラインのハイブリッド。そして、オープンな場というのが多かった。また、すでにあるものを活用する、自分にできることから、無理なくスタートさせ、それぞれが響き合い響奏となっていく。それは推進方針の展開イメージとして設定する「〇〇の巣」であり、皆さんの意見は推進方針で整理していきたい。
<p>配布資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回鴻巣市シティプロモーション推進懇話会次第 ・ 懇話会委員名簿 ・ 前回の振り返り ・ 第2回懇話会会議録 ・ 懇話会後の意見